

## 学校応援プロジェクト 2025年度 活動報告

### 八王子学園八王子中学校 大学訪問 キャリア教育プロジェクト

2026年1月29日(木)に、八王子学園八王子中学校から3年生のみなさんをお迎えし、多摩キャンパス内 Forest Gateway CHUOにおいてキャリア教育プロジェクトを実施しました。八王子学園八王子中学校は今回で5回目の来校です。3クラス95名の皆さんに、中学校と大学の違いや職業のつながり、大学生活に関してイメージを持ってもらうことを目的としました。

当日は大学1年生から4年生までの30人のメンバーが参加し、ホールで「大学ガイダンス」を実施した後、クラスごとに3~4名の中学生に大学生が1名入

った8班に分かれ、各教室において「アイスブレイク」「キャリア相談」「キャンパスムービー・キャンパスツアー」とプログラムを実施しました。メンバーは、プログラムごとに4つの担当班に分かれ、準備および当日の進行を担当します。2025年度最後のプロジェクトとなった今回は、各班の班長・副班長を1年生が中心に務め、上級生が補佐する体制をとりました。各班で、これまでのプロジェクトで出た反省を活かし、中学生のみなさんにとって有意義な機会となるように、検討を重ね当日を迎えました。



## 大学ガイダンス

最初のプログラムは大学ガイダンスです。大学進学に向けて中学生の今からできることや、中学と大学の違い、中央大学にある学部と卒業後の進路を紹介しました。今回は学生にアンケートをとり、中大学生が考える勉強する意味、大学進学を決めた時期や理由も紹介しました。実際の大学生の声を聞くことで、より大学進学を身近に感じてもらえたと思います。また、途中で出題された3択クイズでは回答が分かれたものもあり、正解が発表された後には驚きの声があがっていました。中学生のみなさんが真剣に聞いてくれているのがわかり、話しやすくとてもありがたかったです。中学生である今の学習や行動も、大学進学や学習、就職につながりうるということを感じてもらえたら幸いです。

## アイスブレイク

続いて各クラスで班に分かれ、中学生と大学生の距離を縮めるためのアイスブレイクとして、ゲームを行いました。今回行ったゲームは、ジェスチャーゲームです。このゲームは今回のプロジェクトで初めて行われ、独自のルールやお題が作られました。各班に置かれたお題カードにあったジェスチャーを行い、班のメンバーがそれを当てるゲームです。制限時間の中で、どれだけ多く答えられるかを競いました。お題のうちいく



つかは「バナナを食べるゴリラ」のように伝える要素が2つあり、少し考える時間もありましたが、各班で盛り上がりを見せていました。中学生も大学生も、班のメンバーにお題を正しく伝えようと一生懸命にジェスチャーをし、メンバーが考える様子が見られました。最もポイントが高かった班には表彰式で賞状が渡され、お互いの班の健闘を称えました。



## キャリア相談

アイスブレイクでお互いの仲を深めた後に、キャリア相談を行いました。これは、実際に大学生と会話をする事で、これからの進路選択や学習に関するヒントを掴むことを目的としたプログラムです。

各班にいる大学生がそれぞれの時間割や授業、学習内容を教科書や資料を用いて紹介したり、中学生が大学受験や普段の学習、生活のことを質問したりしていました。班にいる大学生だけでなく、クラスを巡回しているメンバーも班に入り、会話に参加する様子もありました。また15分ほど経過した後、班担当の大学生を交代しました。これらを通して、学年や学部、学んでいる内容がさまざまな学生と話をしてもらうことができたのではないのでしょうか。その後の休憩時間にも続けて、大学生に質問している班もありました。大学やそれまでのプロセスについて、興味を持ちながら理解を深めてもらうことができたと思います。



## キャンパスムービー

休憩後、茗荷谷・市ヶ谷田町・後樂園の各キャンパスを紹介するキャンパスムービーを上映しました。各キャンパスの施設や様子がまとめられているうえに、理工学部の研究室で行われている実際の研究の紹介がありました。中学生は、集中して動画を観ている様子でした。

## キャンパスツアー

ムービー終了後は、班ごとに多摩キャンパスを散策するキャンパスツアーを実施しました。中学生からの希望をベースに、広大なキャンパスを見て、いくつかの施設では中にも入り見学しました。食堂や生協、図書館のような大学ならではの施設に加えて、ラバースヒルや馬術場のような、自然の多い多摩キャンパス特有の施設の見学もありました。大学ガイダンス内で紹介のあった大教室に入り、広さに驚いている中学生もいました。移動中は大学生が施設の歴史やエピソード、中大出身の著名人など、さまざまな話をするようにしました。中学生のみなさんは興味を持って話を聞いてくれました。文学部棟3号館の入口と食堂ヒルトップ入口にはクイズを設置しました。各班、ツアーの最中にクイズも楽しんでいる様子でした。



プロジェクトの最後にはお土産として、中央大学特製のクリアファイルをお渡ししました。受け取る時の、中学生の嬉しそうな表情が印象的でした。朝、早く到着した中学生の中には、プログラムが始まる前に大学生に質問したり、休憩時には建物内を見てまわったりする中学生の様子が見られ、今回の



大学訪問を楽しみにしてくれていたのが伝わってきました。帰り際には、生徒の皆さんから「楽しかった」「面白かった」という声をたくさんいただけて、メンバー全員嬉しかったです。活動後のアンケートでも、「大学生にたくさん話が聞けた」「自分の将来をイメージできた」「もっと見学したいくらい楽しかった」のようなポジティブなご意見をたくさんいただきました。

今回のプロジェクトの準備の間には、年末年始や試験期間が重なっていたため、オンラインツールも使いながらミーティングを行い、検討や準備を重ねました。1月に入ってからはメンバー全体でも集まり、当日生徒の皆さんをお迎えするに向けて、ミーティングやリハーサルを行いました。今回は中学生の1班を3、4人という少ない人数としたため、それぞれに合ったより細かい対応ができる分、メンバー全員が流れをよく理解しておく必要がありました。それに対して、ミーティングやそれぞれと連絡を密にとることによって、メンバー全員で共通の認識を持ちながら、このプロジェクトを進めることができています。各班、そしてメンバーそれぞれにおいて、今年度の活動を振り返り、よりよいプロジェクトになるよう行動できたと思います。

八王子学園八王子中学校3年生の皆さん、先生方、ありがとうございました。私たち大学生も、皆さんと一緒に素敵な時間を過ごすことができました。今回の大学訪問が、皆さんの進路選択やキャリア設計の役に立つことができれば幸いです。ぜひ、また中央大学にいらしてください。お会いできることを楽しみにしています。

